



日本が初参加したオリンピック、1912年ストックホルム大会にて、左から嘉納治五郎、大森兵蔵、旗手は三島弥彦選手。

あなたは今年、何を見つけてきますか？

生涯学習開発財団 理事長 松田妙子



ライフラーニングメンバーズの皆様、あけましておめでとうございます。

すでにご存知の方も多いと思いますが、来年のNHK大河ドラマ「いだてん」は、オリンピックが舞台です。日本が初参加した1912年のストックホルム大会から、日本初開催となった1964年の東京大会まで、52年間の苦業の物語を、人気脚本家の宮藤官九郎さんが描きます。

そのストックホルム大会を監督として率いたのが、私の大

叔父である大森兵蔵でした。ドラマ「いだてん」では人気俳優の竹野内豊さんが兵蔵を演じてくださるそうです。大叔父は日本人の体躯向上を目的として、アメリカの大学に留学をし、新しいスポーツであるバスケットボールとバレーボールを日本に紹介したと言われています。そして、オリンピックを日本を目指して、嘉納治五郎とともに大日本体育協会や日本オリンピック委員会を設立し、ストックホルム大会参加を実現したのです。

私は、今年の自身の課題として、日本初の新しいことに次々と挑戦し続けた大叔父に倣い、「何か新しいことを見つける」ことを決めました。いろんなことに興味を持って、初めての場所を尋ねたり、初めての人に会ったり、初めての学びを試みたりと、何に出会うか今から楽しみです。

本情報誌では、日本の伝統工芸や季節の室礼など、日本に古くから伝わるものの魅力をシリーズで紹介してきました。一方で、新規性のある研究で博士号を取得された方々のインタビューや、新しい事業モデルで世の中を良くしていることとする社会起業家の生き方も紹介しています。古いこと、新しいことの両方を発信しているのは、両方ともに自分が気づかなかつた新しい発見があるからです。

昨年の誕生日（本誌10月号）に申し上げた、ライフワイドな生き方を実践するためにも、感度の良いアンテナを立てて、私なりの新たな発見をしていきたいと思っています。

あなたは今年、何を見つけてきますか？